

## 今年度 表彰等を受賞された皆様

おめでとうございます

### 第 42 回毎日農業記録賞

☆☆☆一般部門 最優秀賞 中央審査委員賞☆☆☆

かやもり もとひろ  
栢森 基宏さん（松山市菅沢町）

松山市菅沢町で野菜栽培を営む栢森基宏さんが、毎日新聞社が主催する「第 42 回毎日農業記録賞」の最優秀賞を受賞し、平成 26 年 12 月 8 日、東京都千代田区にある如水会館において表彰されました。全国から一般部門 169 点の応募があり、最優秀賞 6 点の中で最高位の中央審査委員長賞に選ばれました。



「バンダナ父さんの人生記録～新しい仕事は故郷新潟から 1,000km～」と題して、生まれ故郷の新潟の会社を中途退職して、妻の実家である松山市五明地区で農業を始め、農業を通じて得た人との絆や生産の苦労・喜びを作品に綴りました。



栢森さんは、「人生のノーベルファーマーズ賞をいただいたようなもの。14 年前に故郷新潟から松山に来て、いい仲間、親身になって助けてくれる人に出会えた。皆さんに感謝したい。」と話されました。

### 第 42 回毎日農業記録賞 ☆☆☆優良賞☆☆☆

河上たずみさん（松前町）

久万高原町で農業を営む河上たずみさんが、「第 42 回毎日農業記録賞」において、「優良賞」を受賞しました。

作品のタイトルは、『やっぱり農業！』で、これまで農業とは無縁ながら、4 年前に夫の退職を機に自宅（松前町）から 40 分の久万高原町に土地 50 アールを購入し、水稻や果樹など約 10 種類の作物を栽培するようになるまでの奮闘ぶりを綴りました。

「農業を始めた当時は、わからないことばかりで苦労したけど、人の優しさや、作物が出来るまでの喜びなどを記録して



ピーマン収穫作業の様子



授賞式の様子

いたことが受賞に繋がった。これからもワクワクしながら農業を続けたい」と抱負を述べました。

就農 1 年目の奮闘を綴った『女 61 歳初めての農業』を自費出版し、道の駅「天空の郷 さんさん」で販売しています。

また、久万高原町産の果樹や小豆を使ったスイーツ店開業に向け現在準備中であり、今後も地域での活躍が期待されています。

## ☆☆☆平成 26 年度優秀農業青年クラブ表彰「農林水産大臣賞」☆☆☆ 久万高原町青年農業者連絡協議会 （久万高原町）

久万高原町で農業を営む「久万高原町青年農業者連絡協議会（会長 田村隆悟 18人）」は、第 54 回全国青年農業者会議において、平成 26 年度優秀農業青年クラブ表彰「農林水産大臣賞」を受賞しました。

当協議会は、平成 16 年の町村合併により誕生した協議会で、平成 25 年度からは硬いイメージのする協議会名をより親しみやすいものにと、「久万高原 天空ファーマーズ」という名称をつけ、活動を行っています。

協議会では、農業経営の新たな展開を目指し、道の駅開設に伴う商品開発や、生産から加工、販売までも視野入れたいいわゆる“六次産業化”に向けて取り組むとともに、廃品を利用したリサイクル活動など、地域の活性化を図ったことが評価され、今回の受賞に至りました。

会長の田村氏は、「町を PR できるいいチャンスになった。自分たちのやっている取り組みを更に皆さんに知ってもらい、広げていきたい」と抱負を語りました。



久万高原 天空ファーマーズのメンバー



「ゆりぼうシリーズ」・「米袋グッズ」

## 平成26年度全国優良経営体表彰★★★農林水産省経営局長賞★★★ 政岡俊一さん（砥部町）

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会による全国優良経営体表彰において、砥部町で施設柑橘を中心に栽培する政岡俊一さんが、農林水産省経営局長賞を受賞しました。

政岡さんは、経営移譲後に樹立した経営改善計画に基づき、主幹となる温室みかんにおいて高品質化・高正品率・低コスト技術を確立するとともに、愛媛果試第 28 号など中晩柑類を導入し、高い生産性と収益性を確保しています。

また、地元の小学校給食に温室みかんを提供するなど食育教育活動を実践しています。このように、自ら率先して農業経営の改善に取り組むとともに、地域農業の模範となる経営や地域活動に対する多大な貢献を果たしています。

